

第9回特別展

北方民族の船

北の海をすすめ

1995.2.7(火)-3.14(火)

開館時間 9:30-16:30 休館日 月曜日 2月14日

特別展示観覧料

一般	大学生・高校生	小学生・中学生
250(200)円	80(50)円	50(30)円

● かつこ内は10人以上の団体の場合



白樺樹皮船／アルゴンキン・インディアン

協力 市立函館博物館 函館市北方民族資料館
北海道開拓記念館
門崎允昭氏 児玉マリ氏 吉田悟郎氏

講演会 「イタオマチブを復元する」
2月12日(日) 午後2時から当館講堂にて
講師 秋辺得平氏(北海道ウタリ協会)
聴講は無料です



北海道立北方民族博物館

Hokkaido Museum of Northern Peoples

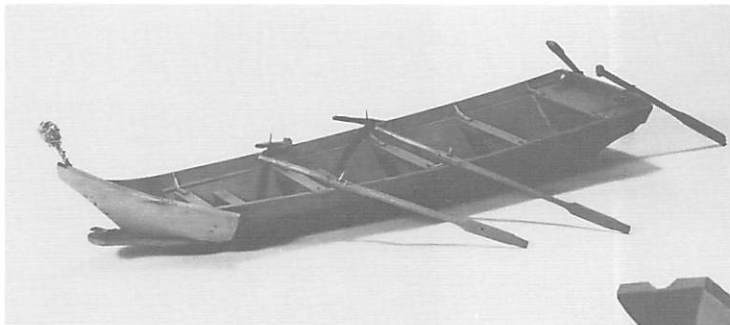
〒093 北海道網走市字潮見313-1 (天都山)

☎ 0152-45-3888

北方民族の船

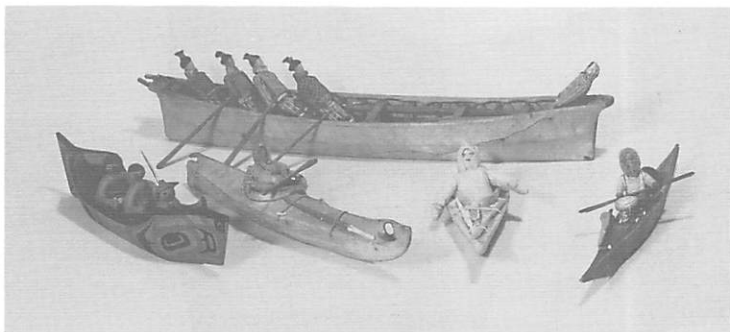
北の海をすすめ

北方諸民族の生活と歴史において
船は大きな意味をもっていた
もしも船がなかったら
一年の生業のリズムも
また民族の移動や文化の広がりも
我々の知っているものとは
大きく相違したものに
なっていたに違いない

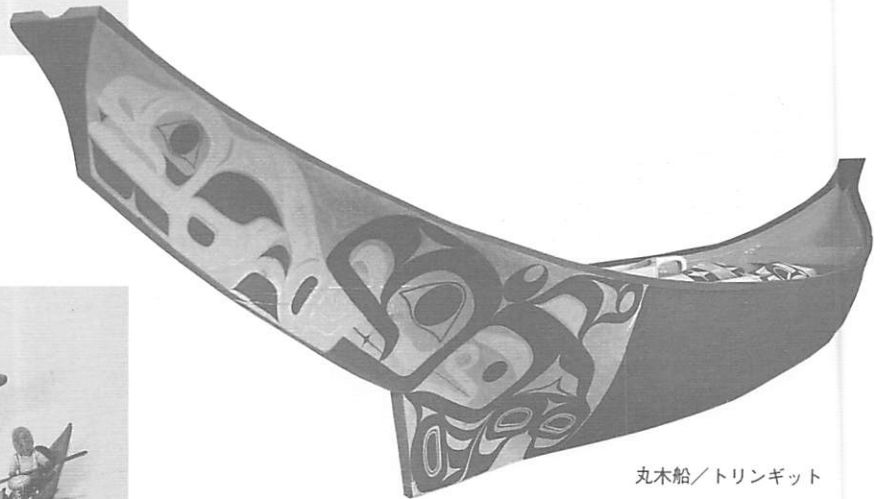


船模型／ニブフ

北方地域の海や川ではさまざまな材料の工夫をこらした船が、狩猟・漁撈に、移動に、交易に使われてきました。今回の特別展では北方民族が使用した船を中心に展示し、船が生活の中ではたしてきた役割について紹介します。



船模型／イヌイト、北西海岸インディアン



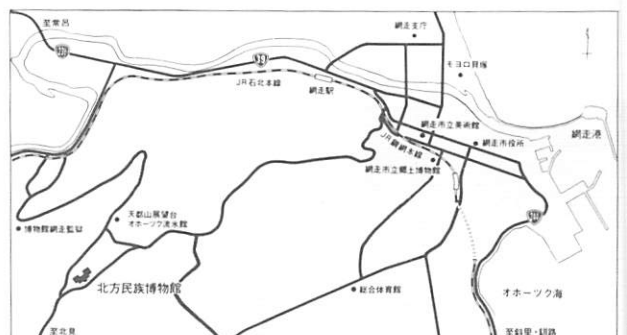
丸木船／トリンギット

白樺樹皮船、ヘラジカ皮ボート、アザラシ皮カヤック等の船製作の知恵と技術を紹介する「北方民族の舟をつくる」を上映します。

もし

1995年1月～3月

- 講座「みやげの文化人類学」 1月22日(日) 午後2時から
講師 齋藤玲子(当館学芸員) 北方地域における民族芸術の変遷について、とくに観光とのかかわりの中でとらえます。
 - 講演会「イタオマチブを復元する」 2月12日(日) 午後2時から
講師 秋辺得平氏(北海道ウタリ協会) 講師ががてがけたアイヌのイタオマチブ(板綴り船)の復元の過程を紹介。イタオマチブの歴史的意義を考えます。
 - 講習会「ワークショップ3」 2月19、26日(日) 午後2時から
講師 青柳文吉・笹倉いる美(当館学芸員) インディアンのビーズベルトを復元的な方法で製作します。材料・道具は博物館で用意をします。
 - 講座「北方の漁撈文化」 3月12日(日) 午後2時から
講師 渡部裕(当館学芸課長) 北方地域に共通してみられる河川や湖沼での氷下漁について、生業の中での位置づけを試みます。
- 参加は無料です。参加を希望する方は電話でお申し込みください。



北海道立北方民族博物館

Hokkaido Museum of Northern Peoples

〒093 北海道網走市字潮見313-1(天都山)

☎ 0152-45-3888